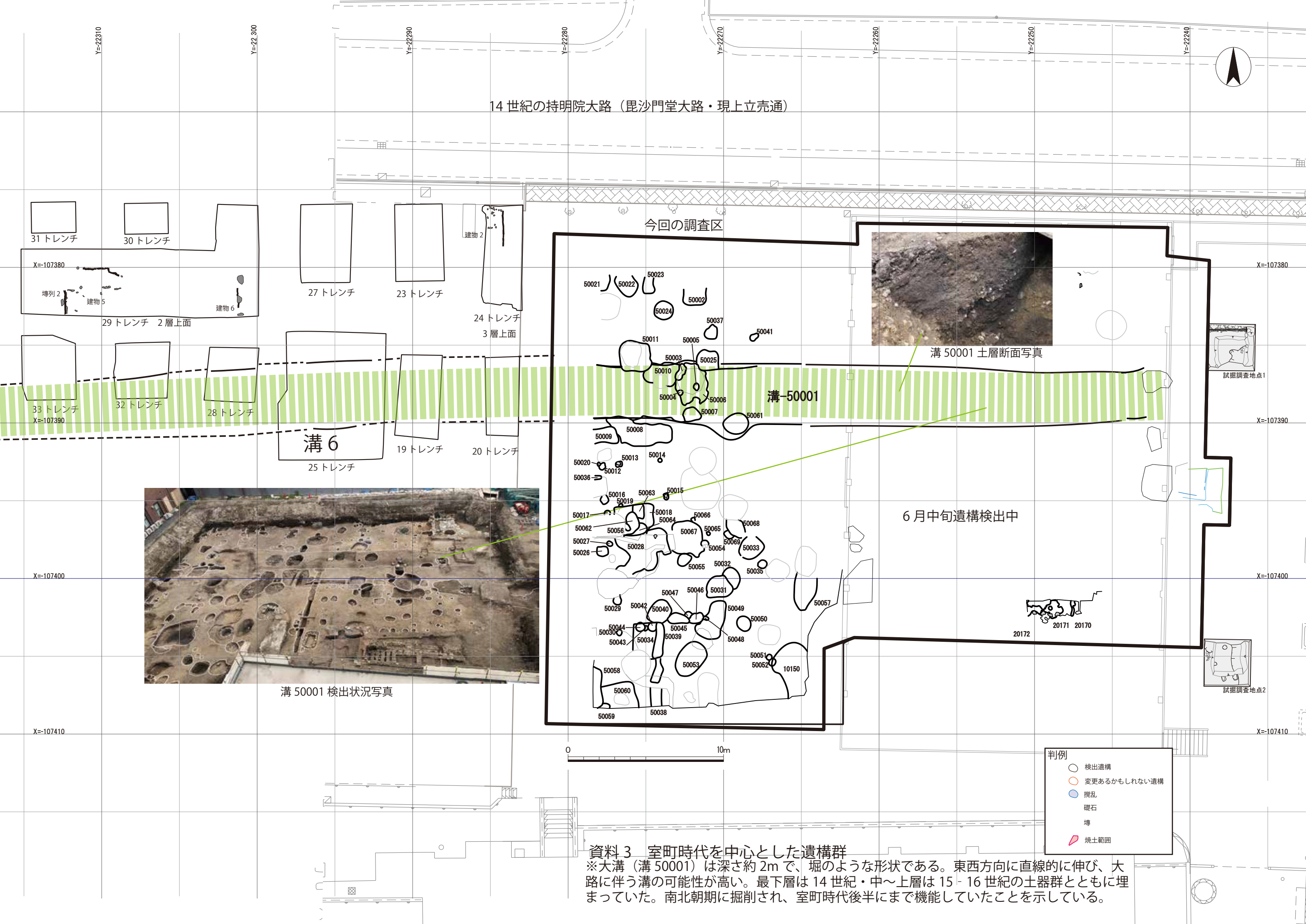




14 世紀の持明院大路（毘沙門堂大路・現上立売通）

今回の調査区

溝 50001 土層断面写真

6 月中旬遺構検出中

溝 50001 検出状況写真

資料 3 室町時代を中心とした遺構群

※大溝（溝 50001）は深さ約 2m で、堀のような形状である。東西方向に直線的に伸び、大路に伴う溝の可能性が高い。最下層は 14 世紀・中～上層は 15 - 16 世紀の土器群とともに埋まっていた。南北朝期に掘削され、室町時代後半にまで機能していたことを示している。

- 判例
- 検出遺構
 - 変更あるかもしれない遺構
 - 攪乱
 - 礎石
 - 塼
 - 焼土範囲